

## 平成27, 28年度 土木学会第2回複合構造委員会 議事録

1. 日 時 : 平成27年12月22日 (火) 14:00~16:30
2. 場 所 : 土木学会講堂
3. 出席者 : 伊藤顧問, 三浦顧問, 奥井委員長, 西崎副委員長, 滝本幹事長, 上田委員, 大垣委員, 大西委員, 街道委員, 加藤委員, 菅野委員 (代理出席吉田氏), 小林委員, 近藤委員, 佐々木委員, 紫桃委員, 島委員, 杉浦委員, 高野委員, 玉井委員, 中村(俊)委員, 藤山委員, 古市委員, 古内委員, 渡辺委員, 池田幹事, 齋藤(隆)幹事, 下村幹事, 平幹事, 中村(一)幹事, 広瀬幹事, 牧幹事, 溝江幹事

(敬称略, 計 32 名)

#### 4. 配付資料 :

- 委2-0 議事次第
- 委2-1-1 委員名簿
- 委2-1-2 複合構造委員会組織図
- 委2-2 第1回複合構造委員会(平成27・28年度)議事録(案)
- 委2-3-1 平成27年度 複合構造委員会 修正予算
- 委2-3-2 H103複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会委員構成
- 委2-4 「FRPによる構造物の補修・補強指針作成小委員会」設立趣意書
- 委2-5 「複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会」設立趣意書
- 委2-6 シンポジウム小委員会の委員の変更・追加
- 委2-7 平成27年度年間スケジュール
- 委2-8-1 第2回複合構造委員会幹事会議事録
- 委2-8-2 第3回複合構造委員会幹事会議事録
- 委2-8-3 第4回複合構造委員会幹事会議事録(案)
- 委2-9 平成27年度委員会予算の執行状況
- 委2-10-1 平成27年度全国大会(研究討論会)報告
- 委2-10-2 平成27年度全国大会(共通セッション)報告
- 委2-11 第11回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム報告
- 委2-12 土木学会論文集A1特集号: 複合構造
- 委2-13 IABSE-JSCE joint conference報告
- 委2-14 日本土木史原稿執筆
- 委2-15 平成28年度事業計画および予算要求調書
- 委2-16 平成28年度重点研究課題の募集
- 委2-17 平成28年度全国大会共通セッション応募

- 委2-18 第6回FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム開催
- 委2-19 出版関連報告
- 委2-20 鋼コンクリート合成床版設計・施工指針(案)の意見照会結果
- 委2-21-1 複合構造委員会の小委員会一覧
- 委2-21-2 H101 複合構造標準示方書小委員会
- 委2-21-3 H103 複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会
- 委2-21-4 H150 各種ずれ止めの性能照査のための評価方法研究小委員会
- 委2-21-5 H181 鋼コンクリート合成床版設計・施工指針作成小委員会
- 委2-21-6 H212 複合構造物の耐荷メカニズム研究小委員会
- 委2-21-7 H213 構造物の更新・改築技術に関する研究小委員会
- 委2-21-8 H214 維持管理を考慮した複合構造の防水・排水に関する調査研究小委員会
- 委2-22-1 平成27年度功績賞候補推薦について
- 委2-22-2 国際貢献賞推薦
- 委2-22-3 JSCE2015のアクションプランと2015年度計画の修正

## 5. 議事内容：

### (1) 委員長挨拶

奥井委員長より挨拶があった。

### (2) 第1回複合構造委員会 議事録(案)の確認(委2-2)

齋藤(隆)幹事より、資料に従い議事録(案)が紹介され、内容について了承された。

### 【審議事項】

#### (3) メール審議結果の確認(委2-3-1, 委2-3-2)

滝本幹事長より、資料委2-3-1に沿ってH27年度の複合構造委員会予算についてメール審議結果の説明があった。最終的に116万円であり、当初より5万円多くなった分をH101複合構造標準示方書小委員会に追加した。

また、滝本幹事長より、資料委2-3-2に沿って説明があった。複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会は、設立趣意書に示す委員構成で進めることになった。

#### (4) 「FRPによる構造物の補修・補強指針作成小委員会」の設置(委2-4)

小林委員より、資料に沿って説明があり、設立が了承された。委員については後日メール審議する予定。

#### (5) 「複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会」の設置(委2-5)

下村幹事より、資料に沿って説明があり、設立が了承された。今後、委員公募の準備として、学会誌及びホームページに掲載する予定。

- ・(質問) 時間がかかりそうな難しいテーマでかなり学術的と思われるが、実用性はあるのか。

(回答) 維持管理における構造物の設計等に適用することを念頭に検討する。

(6) シンポジウム小委員会の委員の変更・追加 (委2-6)

滝本幹事長より、資料に沿って説明があり、小委員会の委員の変更・追加は了承された。

(7) その他 (委2-7)

滝本幹事長より、資料に沿って平成27年度 複合構造委員会のスケジュールが説明された。

**【報告事項】**

(8) 幹事会報告 (委2-8-1, 委2-8-2, 委2-8-3)

滝本幹事長より、資料に沿って説明があった。

(9) 平成27年度予算の執行状況 (委2-9)

滝本幹事長より、今年度予算の執行状況の説明があった。現在残額として59万8千円であり、各小委員会で年度内に有効に執行するよう依頼があった。

(10) 平成27年度全国大会 (研究討論会, 共通セッション) 報告 (委2-10-1, 委2-10-2)

滝本幹事長より、資料に沿って説明があった。共通セッションは、例年と異なり2つの会場で同時に開催されたため1会場の参加者数が20名程度と少なかった。来年度は1つの会場でできるように事務局に要望する。

(11) 第11回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム報告 (委2-11)

溝江幹事より、資料に沿って説明があった。パネルディスカッションの内容については、セメント新聞にも掲載された旨、滝本幹事長より紹介があった。

(12) 土木学会論文集A1特集号：複合構造 (委2-12)

牧幹事より、資料に沿って進捗状況の説明があった。投稿費は現在無料であるが、件数が増えており、今後も無料とするか検討が必要。

・ (質問) 論文数がどの程度増えると赤字になるのか。

(回答) FRPシンポジウム後の号は、件数が少なかったため10万円程度、その前年も20万円程度である。今回のシンポジウム後の号を試算すると25万円程度であり、小委員会委員の旅費等を考慮すると、赤字になる可能性もある。

(13) 「IABSE-JSCE joint conference on Advances in bridge engineering-III」報告 (委2-13)

奥井委員長より、資料に沿って説明があった。

(14) 日本土木史の執筆 (委2-14)

奥井委員長より、資料に沿って説明があった。執筆の締切りは平成27年12月28日となっているが、平成28年1月の土木史編集特別委員会幹事会までよいとのことであった。

(15)平成28年度事業計画および予算要求調書（委2-15）

滝本幹事長より，資料に沿って説明があった．H28年度はH27年度に比べて終了する委員会が少ないため，活動を増やすべく本委員会幹事会でも検討していく．

(16)平成28年度重点研究課題の募集（委2-16）

滝本幹事長より，資料に沿って説明があった．H24年以降複合構造委員会の提案した課題は採択されておらず，最近では採択され難い．重点研究課題の提案を求めたところ，委員より以下の意見があった．

- ・（意見）1) 今まで複合構造委員会が提案した内容で再度応募する.
- 2) 土工と構造物との連携，地盤と構造の連携，幅広く視野を広げたテーマとする.
- 3) 鬼怒川で起こった災害は，河川，地盤，構造について分野横断的に研究することにより，被害を防ぐことにつながる.
- 4) 東日本大震災後に津波対策として，狭い土地に高い堤防を構築する際には，複合構造物が採用される場合がある．学会としてこのような事例をレビューすることや，港湾や河川と連携することが重要.
- 5) 複合構造委員会発足時には，複合構造は鋼とコンクリートが念頭にあったが，地盤改良との複合も議論の中にあっただように思う．そういう意味で前述の提案は当委員会で取組む内容に則している.

(17)平成28年度全国大会 共通セッション応募（委2-17）

滝本幹事長より，資料に沿って説明があり，例年通り応募したと報告があった．

今年のように2つのセッションが同時に開催することがないように，例年4，5月にある全国大会のプログラム編成会議には，本委員会から必ず出席する．

(18)第6回FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム開催（委2-18）

西崎副委員長より，資料に沿って説明があった．開催場所は，土木学会講堂だけでなく，名古屋や金沢等，地方開催の可能性をシンポジウム小委員会で検討する．

- ・（質問）地方開催にすることにより，参加者数は減らないか.
- （回答）むしろ増えると期待している．FRP複合構造・橋梁シンポジウムでまず試すことを検討したい.
- （意見）来年度は行事が少ないため，多くの参加者が見込まれるように開催場所を決めてほしい.

(19)出版関係報告（委2-19）

滝本幹事長より，資料に沿って説明があり，原価回収部数に達していない複合構造レポートの販売促進依頼があった．

(20)鋼コンクリート合成床版設計・施工指針（案）の意見照会結果（委2-20）

杉浦小委員会委員長より、資料に沿って説明があった。現在、意見照会を踏まえ、H28年1月15日の講習会に間に合わせるべく、原稿を再校正中である。800部、3,240円で手続き中。

- ・（意見）1)「防水を適切に行えばよい」という対応コメントがあるが、現在のところ完全な防水はなく開発中であるという認識である。開発中を開発したものとみるか、未完成のものとするかにより異なるため、対応が適切にできるか心配。
- 2) 以前の委託研究である、FRP水門設計・施工指針(案)の書き方は実務的であったが、今回の書式は標準示方書の体裁と似ている。設計者にとって使いやすいのか不明だが、委託者の要望と合っているならばよい。

## (21)小委員会報告（委2-21-1～委2-21-8）

### (H101) 複合構造標準示方書小委員会

渡辺小委員会委員長より、資料に沿って活動状況について説明があった。現在、各編で委員を選定中。示方書改訂に係る新規の第1種、第2種委員会の設立を検討中で、決まり次第、本委員会幹事に諮る予定。以下、参考情報。

- ・ 構造工学委員会の主催の示方書連絡会議で、各示方書の相違点を議論中であり、示方書の共通の見識をまとめる。
- ・ 構造工学委員会でまとめた土木構造物共通示方書が来年度出版されるので、その原稿について複合構造委員会に意見照会される予定。なお、コンクリート委員会、鋼構造委員会にも意見照会される。

### (H103) 複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会

滝本幹事長より、資料に沿って活動状況の説明があった。

### (H150) 各種ずれ止めの性能照査のための評価方法研究小委員会

古内小委員会委員長より、資料に沿って活動状況の説明があった。

### (H181) 鋼コンクリート合成床版設計・施工指針作成小委員会

杉浦小委員会委員長より、資料に沿って活動状況の説明があった。

### (H212) 複合構造物の耐荷メカニズム研究小委員会

牧小委員会連絡幹事より、資料に沿って活動状況の説明があった。

### (H213) 構造物の更新・改築技術に関する研究小委員会

滝本小委員会連絡幹事より、資料に沿って活動状況の説明があった。

### (H214) 維持管理を考慮した複合構造の防水・排水に関する調査研究小委員会

大西小委員会委員長より、資料に沿って活動状況の説明があった。

## (22)その他

- ・ 平成27年度功績賞候補推薦・国際貢献賞候補推薦（委2-22-1、委2-22-2）

滝本幹事長より、資料に沿って説明があり、候補者の推薦依頼があった。

事前にメール連絡のとおり、以上の賞の他、日本産業技術大賞、日本非破壊検査協会睦美賞、土木学会田中賞の候補も推薦いただきたい。

なお、田中賞作品部門は新設と改築に分けて表彰され、特に改築ではプロジェクトの大きさに関係なくよければ受賞する。また、田中賞業績賞は研究者だけでなく、広く民間の人が

らも受賞可能である。

- ・ JSCE2015のアクションプランと2015年度計画（委2-22-3）

滝本幹事長より，資料に沿って説明があった。意見は今年中に連絡をお願いしたい。

(23) 全体を通して

- ・ 複合構造委員会が発足して10年が経過したため，満10年記念企画を実施する方向で，幹事会で検討する。
- ・ 来年度は複合構造委員会で終了する小委員会が少ないこともあり，一般見学会を開催するなどの今までとは異なる活動を検討するのもよい。安全な見学場所があればご提案いただきたい。

(24) 閉会の挨拶

西崎副委員長より閉会の挨拶があった。

以上

(記録・文責：広瀬)